

# 開催要領

## 1 参加費

### ●セミナー参加費

- 本機構会員（法人会員・個人会員共） 1名につき 2,000円
- 本機構会員以外の方 1名につき 8,000円

### ●情報交換会（懇親会）参加費

参加希望の方のみ 1名につき 4,000円

## 2 申込方法

「研修セミナー参加申込」と明記し、下記(1)～(4)の事項を記載のうえ、事務局宛にe-mailまたはFAXでお申し込みください。（別紙のFAXシートご利用ください）

- (1) 参加者氏名
- (2) 勤務先・部署・職位
- (3) 連絡先（勤務先<または自宅>の住所・電話番号・e-mail）
- (4) 参加者名簿への記載の可・不可（後記<注.2>を参照願います）

■申込先：NPO法人 全日本大学開放推進機構 事務局 担当：山内 平澤  
e-mail：infouej@uejp.jp / FAX番号：03-5207-6047

■申込締切：平成27年 3月 16日（月）

## 3 参加費・情報交換会参加費振込先

銀行名：三井住友銀行  
支店名：高島平支店（店番号266）  
口座番号：普通預金 1846702  
口座名義：特定非営利活動法人 全日本大学開放推進機構

■振込締切 平成27年3月17日（火）

■ご入金を確認後、領収書をご用意いたします。当日セミナー会場受付でお渡しいたします。  
領収書の宛先は、原則として勤務先名といたしますが、別途、ご要望がありましたらe-mailまたはFAX（備考欄）にご記入願います。

<注>

1. お申し込み時に提示いただいた個人情報は、次のような場合に使用させていただきます。
  - (1) 本セミナー運営上の連絡が必要な場合。
  - (2) 本セミナーの名札・本機構内の出席リスト作成の場合。
  - (3) 今後、本機構が開催するセミナーやフォーラム等の開催案内を送付する場合。
2. 当日、参加者相互の情報交換や交流に役立てていただくために、氏名・所属先・職位のみを記載した参加者名簿を配布する予定です。  
参加者名簿への記載の可・不可についてお知らせ願います。記載を希望されない方を除いて名簿を作成して配布いたします。  
e-mailまたはFAX（別紙のFAXシートご利用願います）でお知らせください。

第13回

# 大学開放 フォーラム・セミナー

●開催日  
平成27年 3月19日（木）  
・セミナー：13:00～17:40  
・情報交換会：18:00～19:30

●会場  
文京学院大学 本郷キャンパス  
504号室<CONSNA HALL>  
東京都文京区向丘一丁目19番1号

## 地域社会を基盤とした大学開放のつくり方 — 地（知）の拠点としての「地方創生」の進め方 —

### ご挨拶

昨今の大学では、本格的なグローバル時代に応じた全学的な取り組みが活発となっています。その一方で、大学が地域社会のための高度な「教育」「研究」ニーズに応えていくことも緊要なテーマとして求められています。

さらに、大学の「社会貢献」が義務付けられ、平成18～19年度に教育・学校基本法に法制化されましたが、地域社会に資するエクステンション（大学開放）事業への具体的な取り組みは、これから本格的にスタートしようとする状況といえます。

大学の資源が地域社会に活かされ、大学をして文化的、産業的に地域社会を支える地域の拠点となるためには、地域団体と組織的に連携して、地域課題を主体的に解決していく人材を育成等のシステム・プログラム化が求められています。昨年度から始まった文部科学省の「地（知）の拠点整備（COC）事業」では、大学が自治体を中心にした地域団体とともに知恵を出し合いながら、地域振興策の立案、活動をリードする取組として、これからの大学開放のあり方の方向性を示してくれました。

さらに平成27年度には、COCから新たに新産業・雇用創出や地域内の就職率向上等、地域の活性化を目的としたCOC+（プラス）が新たにスタートします。

そこで、今年の大学開放フォーラム・セミナーは、地（知）の拠点としての「地方創生」の進め方をテーマにしました。冒頭、文部科学省生涯学習担当の楠目室長からは、大学開放のための生涯学習施策の動向と地方創生へのあり方についてお話を伺います。

基調講演Ⅰでは、高崎経済大学の宮教授から、COC事業や「大学教育再生加速プログラム」等において注目されている、社会人として必要な能力を育成するためのPBL（Project Based Learning）活動をはじめとした「能動的学修」のシステム・プログラム化の理論と実際の進め方についてお聴きしたいと思います。

基調講演Ⅱでは、我が国の最重要課題といえる「超高齢化・人口減少時代」に対応した大学開放の一つの手立てとして、順天堂大学大学院の白澤教授が医学と地域の視点から、健康長寿社会づくりと地域振興の相乗的な展開についてお話頂きます。

報告Ⅰでは、文京学院大学中西マネージャーから地域社会に開かれた大学実践例として、我が国でも有数の大学・自治体連携が盛んな文京区との進め方、さらには地域人材育成プログラム開発のための地域分析から企画・運営についてお聴きします。

報告Ⅱでは、広島大学岡本副学長から、大学経営における地域社会連携ビジョンと位置づけ、教育・研究・社会貢献目標の立案から、実際の自治体、企業や団体との連携促進の戦略・戦術等についてお聴きします。さらには、パネル・ディスカッション形式で、演者の先生方に再登壇していただき、全国の大学、自治体のそれぞれの特徴と地域特性に応じた「地方創生」「大学開放」するにはどうすべきか、ご参加の皆様とご一緒に考えてみたいと思います。年度末でたいへんご多用の時とは存じますが、多くの大学及び自治体や団体のご参加をおまちしております。

全日本大学開放推進機構 理事長 香川正弘

NPO法人全日本大学開放推進機構（UEJ）主催

## プログラム構成

●13:00～13:10	<b>主催者挨拶</b> 香川 正弘 全日本大学開放推進機構(UEJ)理事長	●15:45～16:05	<b>報告1</b> 「文京区と生涯学習センターの関わり～地域課題解決型人材養成講座 「文の京(ふみのみやこ)生涯学習司養成講座」の連携について～」 中西 明(文京学院大学 キャリア・社会教育センター社会教育グループマネージャー )
●13:10～13:30	<b>ご挨拶・講演</b> 「地方創生に寄与する生涯学習」 楠目 聖 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室長	●16:05～16:30	<b>報告2</b> 「広島大学の産学・地域連携と人材育成」 岡本 哲治(広島大学 理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当) )
●13:30～14:30	<b>基調講演Ⅰ</b> 「能動的学修の積極的な展開と地域社会との連携」 演者 大宮 登(高崎経済大学 地域政策学部教授) 座長 河村 能夫(UEJ副理事長龍谷大学産学連携フェロー 京都府立農業大学校長)  ＜講演要旨＞ 大宮教授は、日本ではじめて平成8年に地域政策学部を創設した中核教員のメンバーである。高崎経済大学の学生構成は、北海道から沖縄まで、他都道府県出身者が全体の75%を占めるという、地元志向が強くなる昨今の地域大学の中でも、経済学部の伝統と地域政策学部の特色づくりによって稀有な大学経営基盤を構築することができた。さらに、大宮教授は「地域と協働する大学づくり」のための卓越した経営理論と徹底したフィールドワークによるキャリア教育を実践されてきた。学生たちが、コミュニケーション力、協働能力、企画力、調査力、課題発見能力、課題解決能力等、社会で活躍するために必要な力をつけていくためには、地域社会と連携した「能動的学修」の展開が必要と唱える。高崎経済大学大宮研究室で、国(文部科学省、総務省等)、県(群馬県)、市町村(高崎市、富岡市、京丹後市等)の支援を受け、企業や地域の各種団体と連携し、実際に展開されている「能動的学修」の活動を紹介し、その理念と課題、留意点などを明らかにする。学生の成長と地域づくりの可能性を考える。	●16:30～16:35	休憩時間
●14:30～14:40	休憩時間	●16:35～17:35	<b>パネルディスカッション</b> 「地域社会を基盤とした大学開放の在り方をめぐって」 司会 河村 能夫(UEJ副理事長 龍谷大学産学連携フェロー 京都府立農業大学校長) 登壇者 岡本 哲治(広島大学 理事・副理事 産学・地域連携センター長) 白澤 卓二(順天堂大学大学院医学研究科加齢制御医学講座 教授) 大宮 登(高崎経済大学 地域政策学部教授) 中西 明(文京学院大学キャリア・社会教育センター マネージャー) 浮田 昌和(公益財団法人文京アカデミー アカデミー文京学習推進係長)
●14:40～15:40	<b>基調講演Ⅱ</b> 「長寿社会づくりのためのヘルシエイジング医学と地域活性化の展望」 演者 白澤 卓二(順天堂大学大学院医学研究科加齢制御医学講座 教授) 座長 山田 明夫(UEJ理事) (ヘルシエイジング学会会長 医療法人社団仁應理事長栄町クリニック院長)  ＜講演要旨＞ 国内における予防医学をリードする白澤教授は、予防医学の大切な要素とは<食事・運動・生きがい>であると説く。野菜摂取量日本一<食事>、65歳以上就業率日本一<運動>等の生活習慣の定着などから「平均寿命」「健康寿命」ともに日本一となった長野県において、白澤教授は、臨床(飯山赤十字病院、県立須坂病院)・研究(高山村、中野市)と健康長寿に関わる新しい農産物・観光拠点づくりなどを通じて、住民の<生きがい>に直結させる"地域おこし"の現場指導に携わってきた。なかでも超高齢化・人口減少問題に直面する山間地域の高山村では、白澤教授自ら「野菜スムージー」「減塩・郷土料理」の開発やレクリエーション場の整備監修を行い、さらには、村民・観光客向けの「健康長寿のための生涯学習」の定期講演や「地域紹介本」の出版、地域活性化のため事業タイアップする「企業誘致」探しを行ってきた。地域住民視点のための地(知)の拠点の在り方について考える。	●17:35～17:40	閉会挨拶 UEJ理事 中嶋 洋
●15:40～15:45	休憩時間	●17:45～19:15	情報交換会 司会 UEJ事務局長 山内康義

### ＜講演者紹介＞

- 大宮 登 (おおみや・のぼる) 高崎経済大学 地域政策学部教授

#### 【経歴】

1975年3月 高崎経済大学経済学部経済学科卒  
1977年3月 慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程修了(社会学修士)  
1977年4月 山形女子短期大学専任講師、助教授、教授  
1996年4月 高崎経済大学地域政策学部教授として着任、現在に至る  
2004年4月 高崎経済大学地域政策学部長  
2007年8月 高崎経済大学学生部長  
2008年4月 高崎経済大学 副学長(～2013年3月)

#### 【研究テーマ】

地域活性化をリードするリーダー育成のための理論と実践を学ぶ。文献調査やフィールド調査を行うとともに、若者社会活動支援NPO法人「DNA」の活動にも取り組む。能力開発・人材育成・地域づくりがテーマ。

#### 【所属学会】

日本地域政策学会会長、地域活性化学会会長、日本公共政策学会理事

#### 【主要な研究業績】

- 『景観法と地域政策を考える』編著、勁草書房、2014
- 『キャリアデザイン講座第2版』編著、日経BP社、2014
- 『イノベーションによる地域活性化』共著、日本経済評論社、2013
- 『実践キャリア考』編著、実教出版、2013
- 『大学と連携した地域再生戦略』編著、ぎょうせい、2007

#### 【その他経歴】

文部科学省中教審生涯学習分科会「家庭・地域の教育力の向上に関する特別委員会」委員長代理  
(2005-2006)、文部科学省地域づくり支援アドバイザー会議議長(2004)、文部科学省生涯学習フォーラム委員会座長、文部科学省COCレフェリー(2013)、群馬県総合計画策定会議副委員長、高崎市観光基本計画策定委員長など多数歴任。



### ＜講演者紹介＞

- 白澤 卓二(しらすわ・たくじ) 順天堂大学大学院医学研究科加齢制御医学講座 教授

#### 【経歴】

1982年 千葉大学医学部卒業 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科入局  
1987年 ケルン大学遺伝学研究所 免疫学教室留学  
1990年 千葉大学大学院医学研究科内科学専攻 博士課程修了、医学博士  
1990年 東京都老人総合研究所(現東京都健康長寿医療センター研究所)・分子病理部門研究員  
1997年 東京都老人総合研究所・神経生理部門室長  
2003年 東京都老人総合研究所・分子老化研究グループ研究部長  
2005年 東京都老人総合研究所・ゲノムバイオマーカー研究チームリーダー  
2007年 順天堂大学大学院 医学研究科 加齢制御医学講座 教授

#### 【所属学会】

日本抗加齢医学会理事(理事長補佐)、基礎老化学会理事、バイオフィアリハビリテーション学会理事長、日本老年医学会評議員など

#### 【主な著書】

- 『長寿県長野の秘密』しなのき書房刊
- 『長寿の里高山村長生きレシピ』アスベクト刊
- 『100歳までボケない101の方法—脳とこころのアンチエイジング』文藝春秋社刊
- 『ココナッツオイルでボケずに健康』主婦の友社刊
- 『アルツハイマー病が劇的に改善した!米国医師が見つけたココナッツオイル驚異の効能』SBクリエイティブ刊  
他多数

